

平成24年度 福島市産農産物（出荷物）の放射性物質の 自主検査結果（園芸品目）

市内で生産された農産物（出荷物）の放射性物質自主検査の平成24年度の結果をお知らせします。

1 これまでの取り組み



果樹園地の除染



畑地の除染

2 検査の目的

自主検査を実施することにより、安全な農産物のみを流通させ、市民及び消費者の安全と安心を確保します。

3 検査方法

出荷する全ての農家ごとに、出荷する全ての品目・品種について、検体を5点法^{※1}で採取し、測定器47台を使用し、国内随一といえる体制で検査を実施しています。

※1「5点法」・・・ほ場の四隅と中心の5地点からサンプルを採取すること。



検査の様子

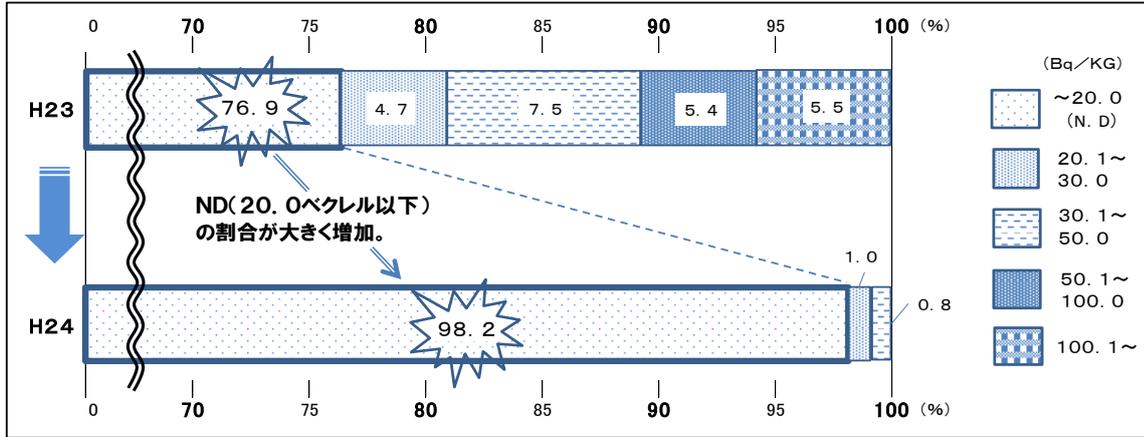
4 検査概要

- (1) 検査機関 福島市地域の恵み安全対策協議会
- (2) 検査場所 JA新ふくしまモニタリングセンター
- (3) 検査機器 NaIシンチレーション検出器 46台(測定下限値 20.0Bq/kg)
ゲルマニウム半導体検出器 1台
- (4) 検査期間 平成24年7月1日～平成25年3月31日
- (5) 検査件数 196品目 22,934件

5 平成24年度の検査結果

(1) 全体

平成24年度は、98.2%が測定下限値（20.0Bq/kg）以下でした。平成23年度の76.9%と比較し、検出数は大幅に減少しました。

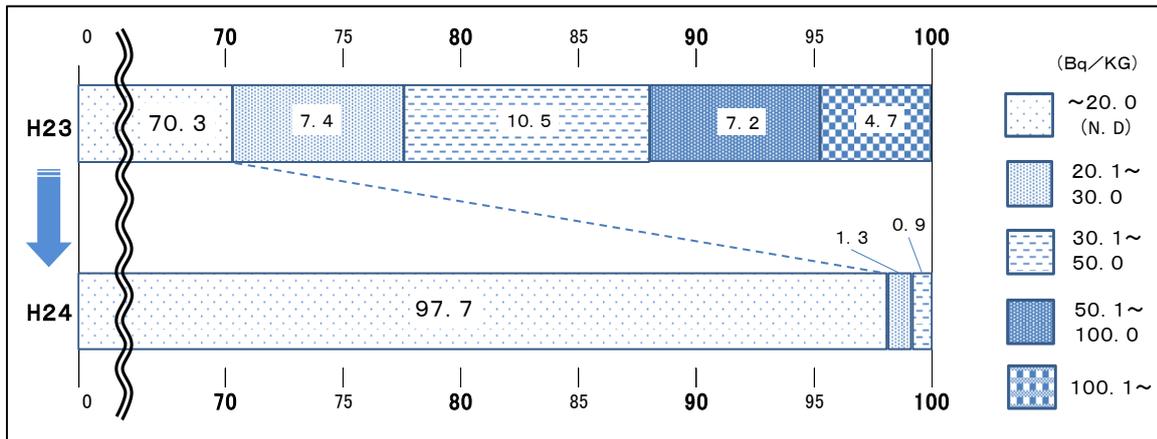


年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	724	44	71	51	52	942
	割合	76.9%	4.7%	7.5%	5.4%	5.5%	100.0%
H24	件数	22,510	233	191			22,934
	割合	98.2%	1.0%	0.8%			100.0%

(2) 作物分類別

① 果物

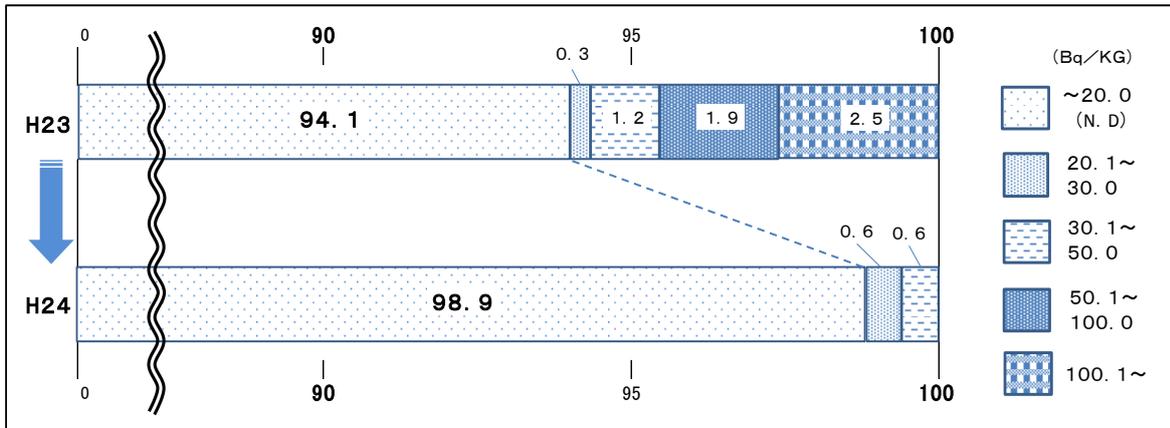
平成23年度の測定下限値（20.0 Bq/kg）以下が70.3%であったのに対し、平成24年度には97.7%となり、検出数は大幅に減少しました。



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	363	38	54	37	24	516
	割合	70.3%	7.4%	10.5%	7.2%	4.7%	100.0%
H24	件数	12,522	173	120			12,815
	割合	97.7%	1.3%	0.9%			100.0%

② 野菜

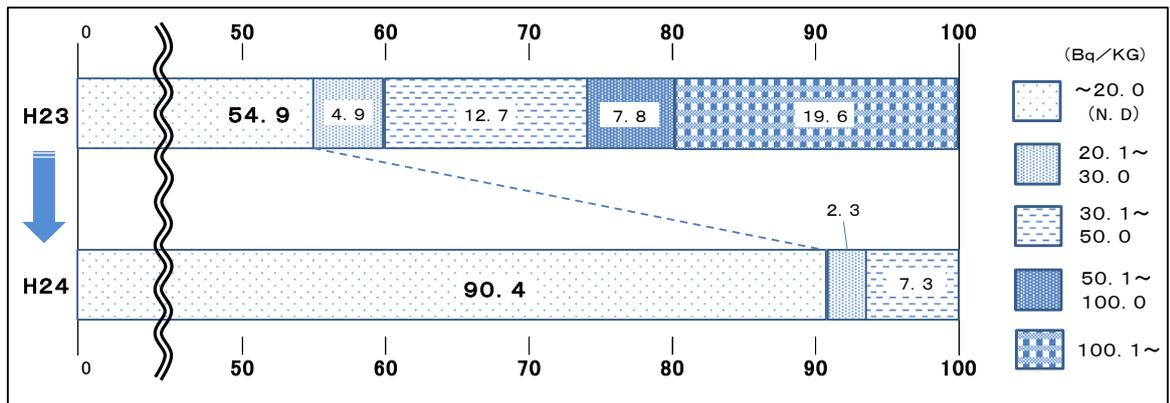
平成23年度においても測定下限値（20.0 Bq/kg）以下の割合が9割以上でしたが、平成24年度は更に4.8ポイント増え、98.9%が測定下限値以下となりました。



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	305	1	4	6	8	324
	割合	94.1%	0.3%	1.2%	1.9%	2.5%	100.0%
H24	件数	9,791	55	55			9,901
	割合	98.9%	0.6%	0.6%			100.0%

③ きのこと山菜・その他

平成23年度の測定下限値（20.0 Bq/kg）以下が54.9%であったのに対し、平成24年度には90.4%となり、検出数は大幅に減少しました。

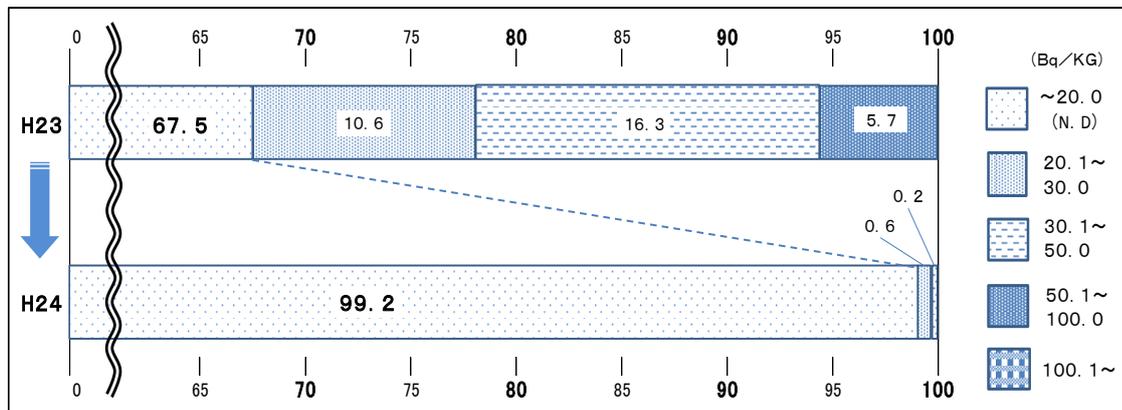


年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	56	5	13	8	20	102
	割合	54.9%	4.9%	12.7%	7.8%	19.6%	100.0%
H24	件数	197	5	16			218
	割合	90.4%	2.3%	7.3%			100.0%

(3) 主な農産物別

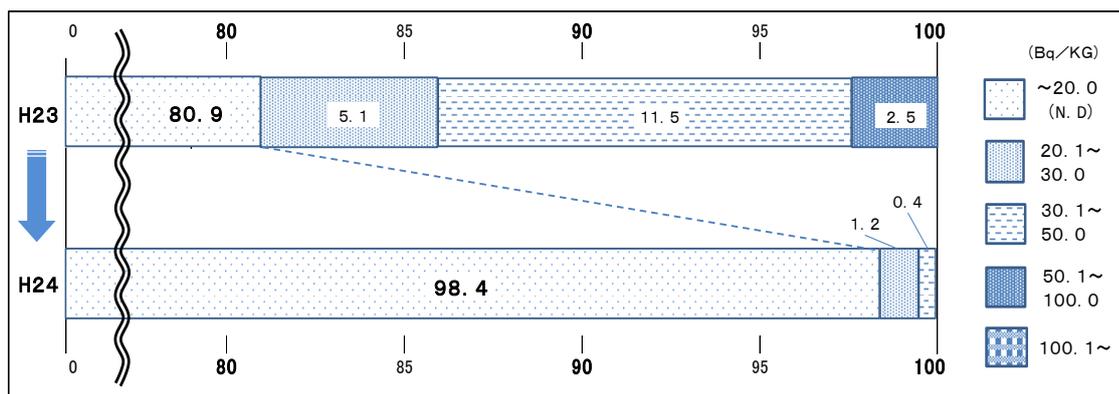
- 「桃」、「りんご」、「梨」、「ぶどう」については、平成24年度は測定下限値(20.0 Bq/kg)以下が98.4%~99.5%であり、ほぼ放射性物質は検出されませんでした。
- 「柿」については、平成23年度では測定下限値(20.0 Bq/kg)以下が60.5%であったのに対し、平成24年度では86.2%となり、検出数は大幅に減少しました。

< 桃 >



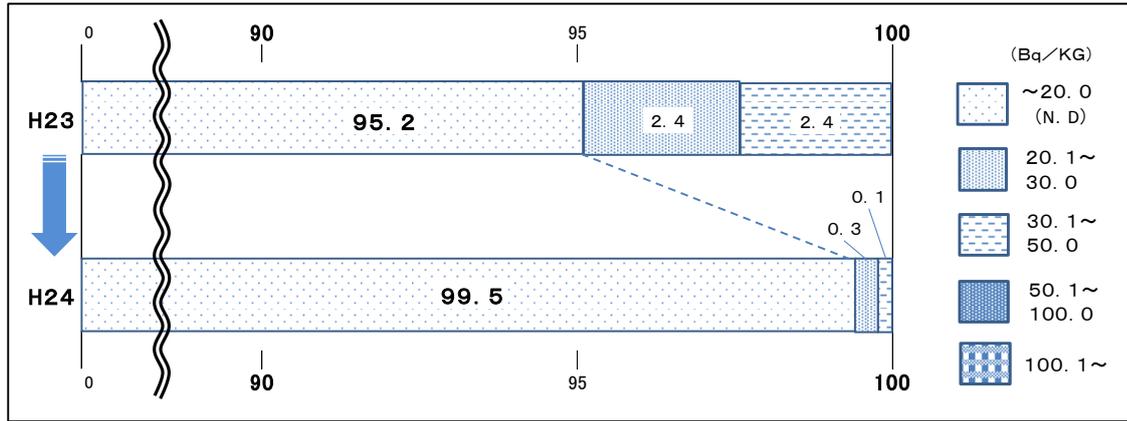
年度	件数/割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	83	13	20	7		123
	割合	67.5%	10.6%	16.3%	5.7%		100.0%
H24	件数	5,233	33	10			5,276
	割合	99.2%	0.6%	0.2%			100.0%

< りんご >



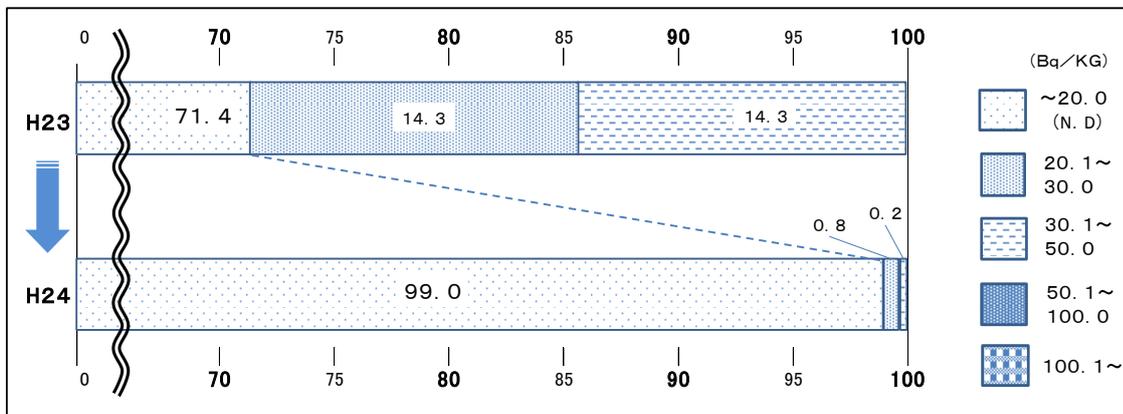
年度	件数/割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	127	8	18	4		157
	割合	80.9%	5.1%	11.5%	2.5%		100.0%
H24	件数	3,435	42	15			3,492
	割合	98.4%	1.2%	0.4%			100.0%

< 梨 >



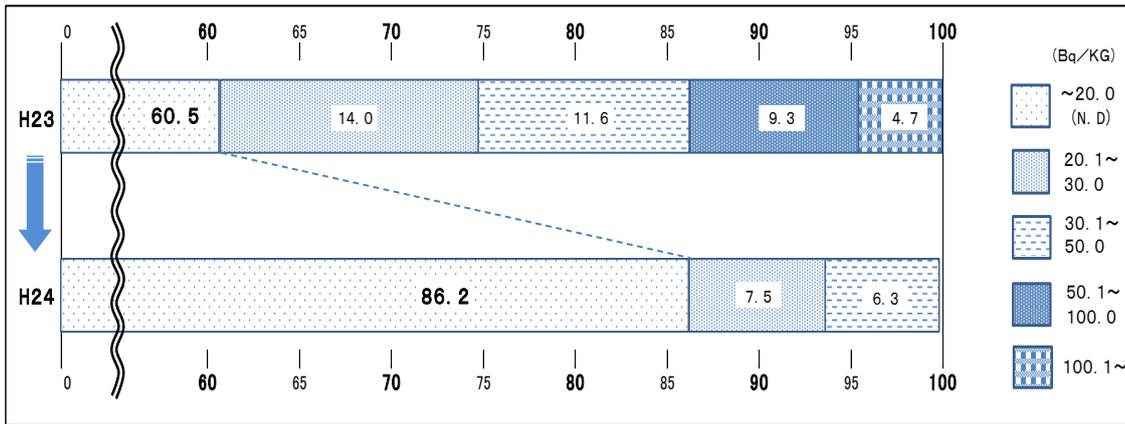
年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	80	2	2			84
	割合	95.2%	2.4%	2.4%			100.0%
H24	件数	2,175	7	3			2,185
	割合	99.5%	0.3%	0.1%			100.0%

< ぶどう >



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	20	4	4			28
	割合	71.4%	14.3%	14.3%			100.0%
H24	件数	511	4	1			516
	割合	99.0%	0.8%	0.2%			100.0%

< 柿 >



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	26	6	5	4	2	43
	割合	60.5%	14.0%	11.6%	9.3%	4.7%	100.0%
H24	件数	588	51	43			682
	割合	86.2%	7.5%	6.3%			100.0%

6 評価

測定下限値を超えた検体の割合は、平成24年度では大幅に減少し、本市の農産物の放射性物質濃度は極めて低くなっています。

また、検出されたものも、国が定めた基準値（100.0 Bq/kg）を大幅に下回っております。